

さくら通りが生まれ変わります

国立市の中央を東西に走るさくら通り。春になると約180本の桜が長いトンネルを創り出します。一見まだまだ元気な桜ですが、老朽化が進んでいるものが増えてきています。また、車道へせり出している桜もあり衝突事故が多く維持管理が困難になっております。このことから、倒木等を防ぐため、老朽化した桜の植え替えを行います。また、4車線ある車道が2車線になり新たに生まれた空間が自転車道になります。市ではさくら通りを歩行者と自転車優先の“人にやさしい道”に整備していきます。



さくら通り整備後のイメージ

1. 事業箇所

国立市富士見台一丁目27番地先から富士見台四丁目4番地先間

2. 事業期間

令和3年度 9

平成25年度から平成31年度の7カ年を予定

3. 事業概要

(1) 延長・幅員：延長約1.8km・幅員20m

(2) 現況幅員構成

車道：13.0m（車線3.0m×4・路肩0.5m×2） 歩道：3.5m×2

(3) 一般部の計画幅員構成（計画）

車道は停車帯付きの2車線とします。

幅員：9.5m（車線3.25m×2 停車帯1.5m×2）

歩行者と自転車の空間は植樹帯により通行帯を区分します。

幅員：5.25m×2

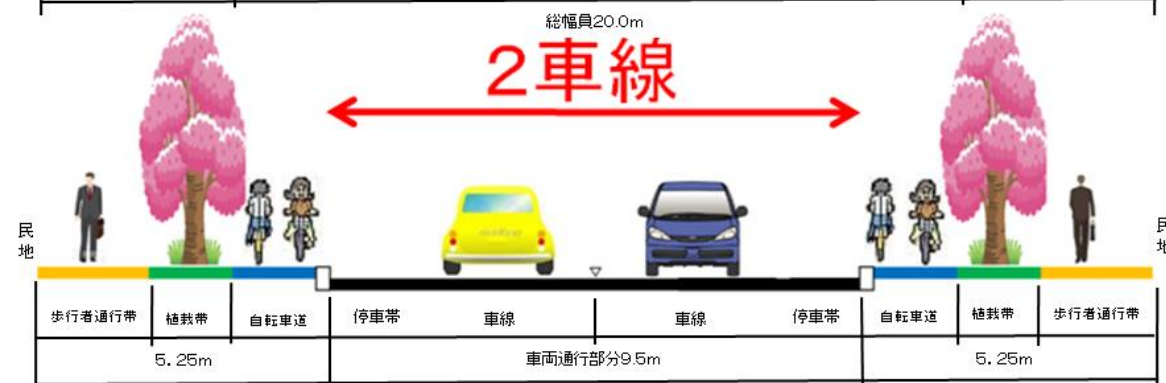
区分	歩行者通行帯	植樹帯	自転車道	記号
低木植栽部	2.37m	0.70m	2.18m	ア
高木植栽部（桜存置）	1.92m	1.58m	1.75m	イ
	1.92m	1.33m	2.00m	ウ
	2.22m	1.03m	2.00m	エ
（銀杏存置）	2.07m	1.00m	2.18m	オ

※桜植栽部は踏固防止板を設置し、歩行者通行帯の有効幅員を2.0m以上とします。

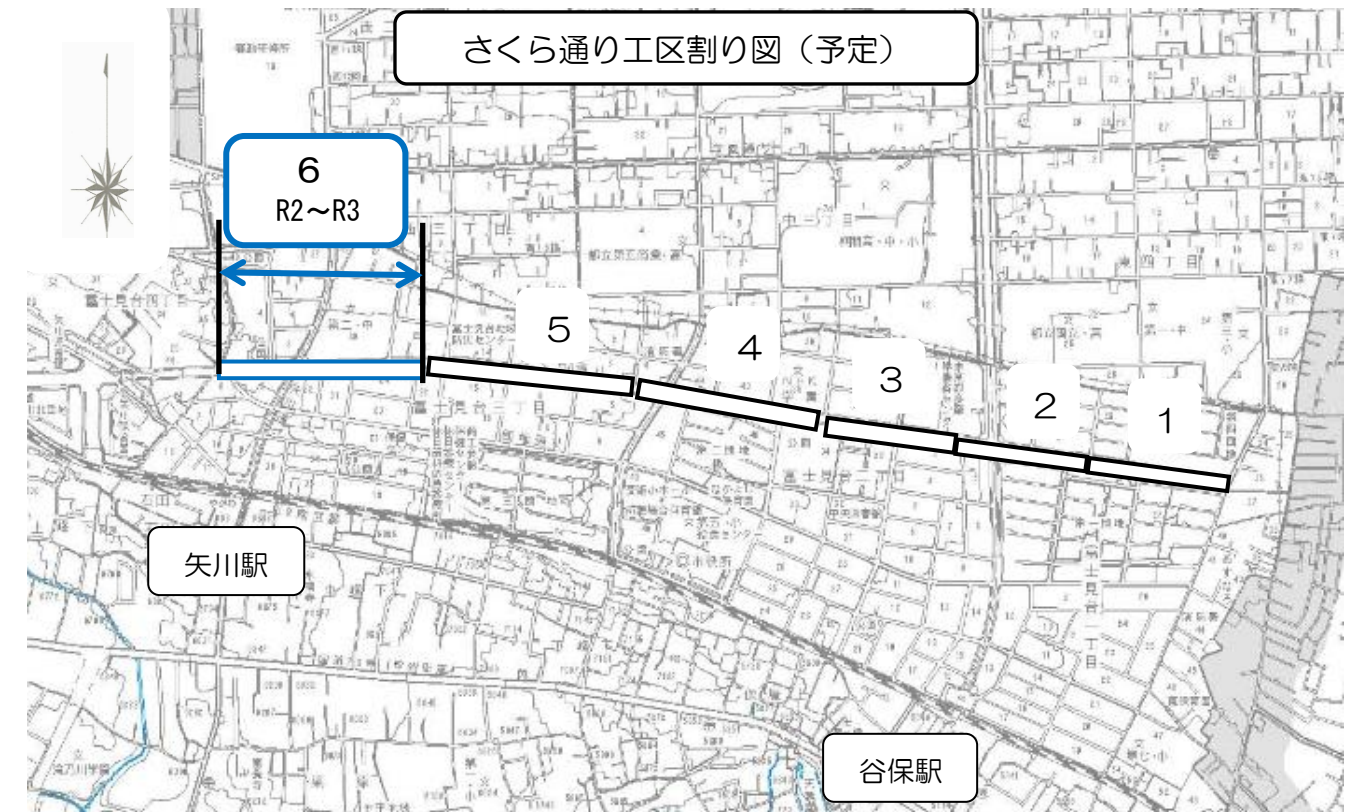
現状



整備後



さくら通り工区割り図（予定）

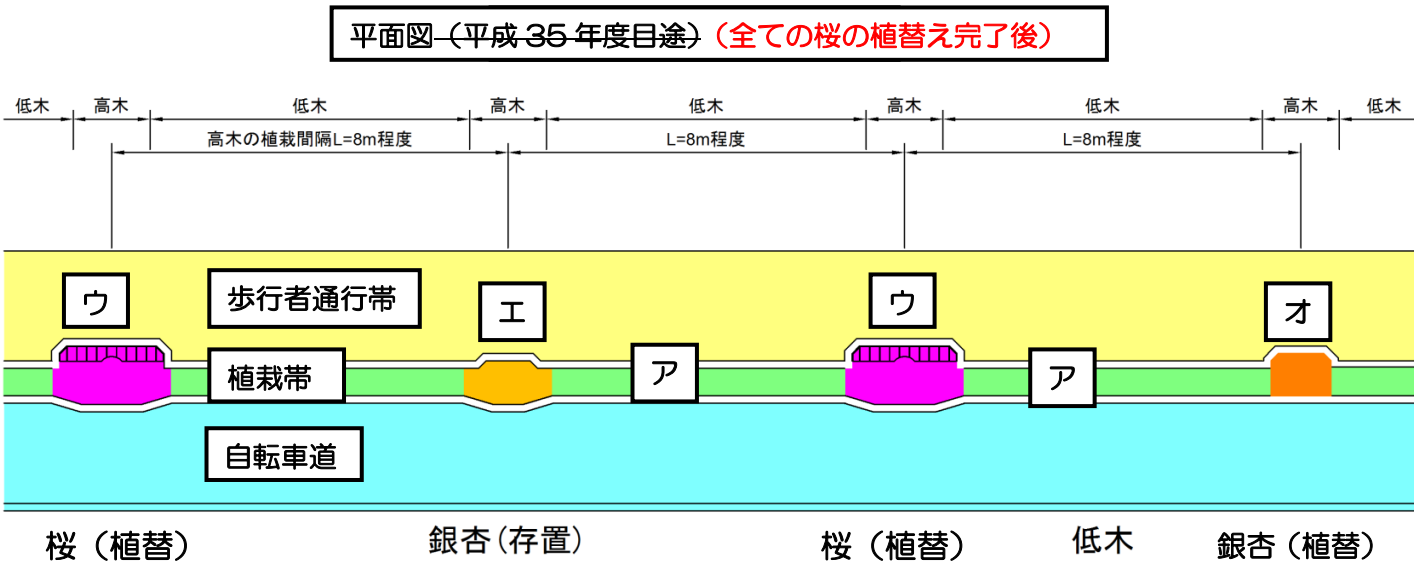
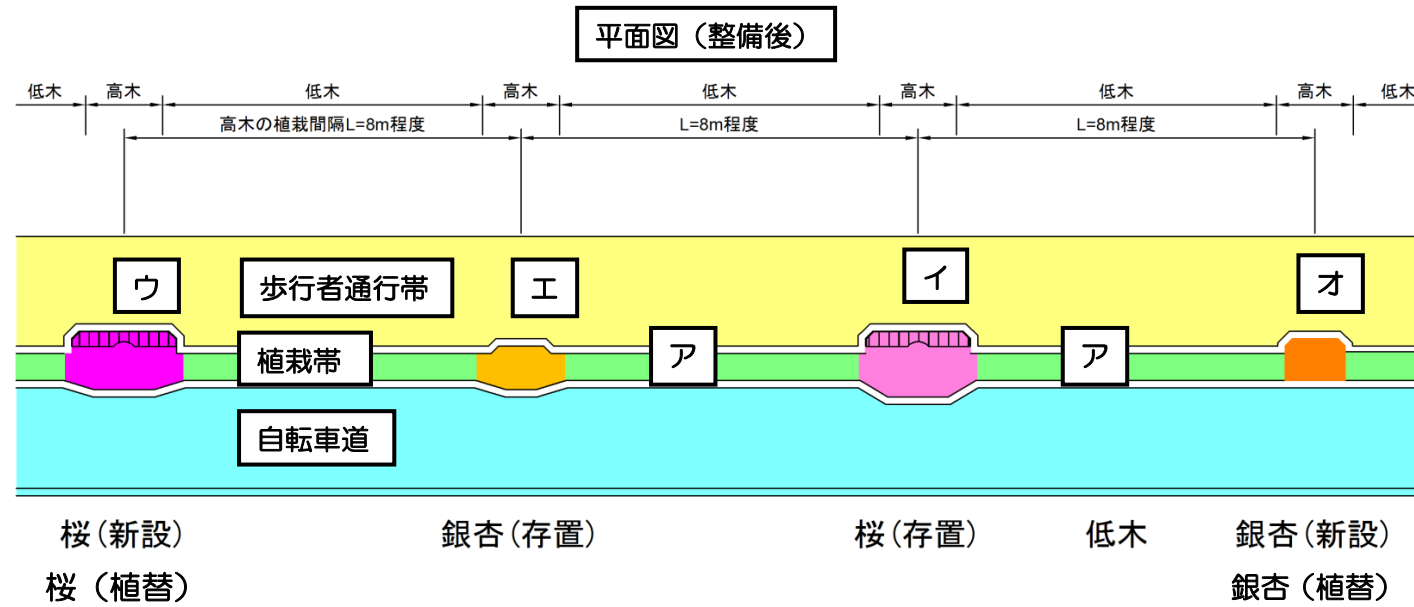


(4) 植栽計画

①一般部の高木

樹勢が弱っている桜(染井吉野)は染井吉野と同系種の桜である、神代曙に植替えることとし、銀杏は現状のまま存置します。

※本事業による桜の植替えは、街路樹診断により危険と判断された桜と、交通安全上やむを得ず植替えが必要な桜とします。



植樹帯の段階整備のイメージ

(5) その他

- ①車道のかさ上げにより、歩道と車道の段差を軽減し、バリアフリー化を図ります。
- ②歩道舗装は透水性のインターロッキング舗装とします。
- ③自転車道の舗装は、透水性アスファルト舗装としますが、各ブロックの起点、終点部分は青色に着色します。
- ④街路灯は老朽化しているため、省エネタイプのものに更新します。
- ⑤植樹帯と自転車道の上に横断抑止柵を設置します。

お問い合わせ先
 国立市富士見台 2-47-1
 国立市役所都市整備部道路交通課整備係
 TEL.042-576-2111 (内線 351)
 担当: 遠藤

